

夏は1年で最もエネルギーが消費されます。市では、地球環境の保全や省エネルギーの推進を図るために、体調に無理のない範囲で、地球温暖化防止対策にもつながる節電を推奨しています。

省エネに取り組めば、家計費の節約につながります。この夏、できることからチャレンジしてみましょ。



市民部 生活環境課
995-1816



省エネナビ

電気ポットの保温をやめると 1日10円節約！

家庭でできる節電メニューの中から、少しがんばると継続して取り組める方法を紹介しします。

- 炊飯器や電気ポットの保温をやめ、使うときだけ温めた。▶1日約10.1円節約、年間で3,686円。
- 冷房の温度設定を28℃にし、使用時間を1時間減らした。▶1日約9.6円節約、夏季3か月で864円。
- シャワーのお湯を出しっぱなしにできなかった。▶1日約8.1円節約、年間で2,956円。
- レジ袋をもらわなかった。(1日2枚程度)▶1日約10.0円節約、年間で3,650円。

エネルギーを 創る！溜める！チェックする！

市では、新エネルギーの利用を促進し、地球環境の保全や省エネルギーの推進を図るために、「エネルギーを創る・溜める」ためのシステム導入に補助金を交付しています。

補助対象となるのは、「創る」システムでは、太陽光発電システムと太陽熱高度利用システムです。

「溜める」システムでは、蓄電池システムと住宅向け給電機能付き電気自動車等充電器（ビークル・トゥ・ホーム）が対象です。詳細については、広報すその4月1日号をご覧ください。

熱中症にご注意ください

暑さが厳しい時間にエアコンの使用を過度に控えると、室温が上昇し、熱中症を引き起こす恐れがあります。特に、高齢者や子どもは、水分をこまめに補給するなど、体調に注意しながら、無理のない範囲で省エネに取り組ましましょう。

5月から10月まで節電中です

市では、昨年度に引き続き、電力の安定的な供給に向け、公共施設の冷房温度を高めめに設定し、クール・ビズを実施するなど、省エネ・節電に努めております。

市民の皆さんにご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

〈市のエネルギー対策メニュー一覧〉

区分	対象システム	補助額	補助条件など
補助金	創る 太陽光発電システム	3万円/キロワット (住宅用：上限12万円) (事業者用：上限20万円)	国補助対象機器であることや、設置工事前に申請いただくなどの条件があります。また、予算の範囲内で行います。
	太陽熱高度利用システム	3万円/基	
	溜める 蓄電池システム	10万円/台	
溜める	住宅向け給電機能付き電気自動車等充電器(ビークル・トゥ・ホーム)	5万円/台	
区分	内容		貸出条件
貸出	チェックする	省エネナビの貸し出し 分電盤に取り付けたセンサーが電気の使用量を測定し、金額やCO2排出量に換算したものをモニターに表示します。家庭で使われた電氣量をリアルタイムで知ることができます。	対象/市内に住所を有する方 期間/3か月以内 台数/1世帯につき1台